

改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一
牧田 俊之・首藤 孝治



牧田俊之 議員

【市内バス路線について】「市民の足」となっているバス路線について、利用者の移動ニーズ、利用実態データから路線・運行ダイヤを検討することと「バスロケーションシステム」の導入について要望いたしました。

【跨線橋について】明野地域において4kmに渡って立体交差が設置されておらず、宅地開発・多くの商業施設立地の現在、新たな立体交差の必要性について確認し、効果や災害避難路としての位置付けも含め調査・研究していくと答弁がありました。

【国際リゾート（IR）投資意向調査について】29年度行いました「投資意向調査」の結果について確認をいたしました。15社から提案があり最大3,500億円の投資規模の提案があったことがわかりました。

苦小牧市の国際リゾート構想策定に役立てるようですが、市民理解が進むようにわかりやすいマスタープラン策定を要望いたしました。

首藤 孝治 議員

【科学センターについて】

昭和44年に開設した科学センターは築47年と老朽化が進み、現在、建て替えを含めた今後の「あり方」が検討されております。私はこの「あり方」の中に、科学センターと学校とのコラボレーションを提案しました。大学などのサテライトキャンパスを誘致し、科学センターと同一建物内に設置し、学生のアイデアなどを活用しながら、さらなる科学センターの発展に繋げることを議論し、市側からさまざまな可能性を含めて検討していくと答弁がありました。

【市民ホールについて】民間の力を活用することで魅力ある機能を集約し、なおかつ民間の投資により建設費用の節減に努める目的で、PPP^{※3}およびPFI^{※4}方式の導入調査に早期に取り組むべきことを議論し、市側から29年度中に聞き取りを行うと答弁がありました。



※3 PPP / 公民連携方式
※4 PFI / 民間資金等活用方式



越川慶一 議員

【総合体育館について】大規模改修の方向で検討している体育館ですが、改修工事の際には休館または閉鎖の可能性もあり、各種大会の開催や合宿誘致に影響が出ることや指摘したうえで、スポーツ施設の集積地である緑ヶ丘公園内への移転を提案し「あり方検討の際は参考にする」との答弁がありました。

【市民ホール】市が考えている建設場所の東小学校敷地以外に、文化公園敷地内でも約4,000㎡の建物は建設できることが質疑で明らかにとなり、大小さまざまな機能・規模で建設・管理運営費用や周辺施設との相乗効果、津波浸水対策などの比較検討をすべきと提案。さらに街づくりの観点から東小学校・市民会館・文化会館敷地の土地に市民ホールと駐車場以外の中心市街地活性化に向けた利活用を考えるべきと指摘し「基本計画に関する建設場所や機能・規模など市民意見・提案は引き続き検討する。今後パブリックコメントの意見も反映できるよう十分考慮する」との答弁がありました。

松井 雅宏 議員

【苦小牧中小企業振興計画案について】

平成25年に苦小牧市中小企業振興条例が制定されて以降、本計画の策定の必要性を求めてきた一人として評価した上で、市の発注工事における下請けを含めた地元発注率の目標管理、中小企業のICT化支援事業などを提案し、いずれも前向きな答弁がありました。

【肢体不自由特別支援学級について】

現在、拠点方式として行われている西小学校の肢体不自由特別支援学級が、30年度から障がい状況や保護者の意向に配慮し、より多くの選択肢の中から教育の場を提供するとした通学区域の変更について、各校教員に対する専門性向上の対策、未就学児の保護者を含めた不安解消を前提とした丁寧な説明、新たな福祉車両の導入の考え方について質し、いずれも努力していくとの考えが示されました。（文教経済委員会にて議論）

